令和６年度
職員募集案内

クレアは、自治体国際化のスペシャリストを育成します。

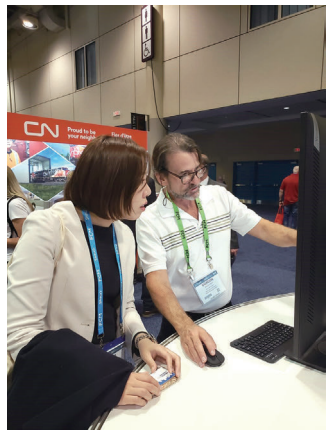
地域の国際化を推進する共同組織、クレア。
ここには日々国際化に関する課題やニーズが持ち込まれ、
その解決のために職員が精力的に働いています。
クレアでは、こうした環境に自治体職員を派遣いただき、
多様な業務を経験する機会を提供することで、
職員の能力の着実な向上を図っています。
自治体国際化を担う次代のスペシャリスト、
私たちがしっかり育成します。

地方出展イベントで来場者に日本の観光PRを行う職員
（パリ事務所）

派遣元自治体の取組みを所管国の学生に紹介する職員
（シンガポール事務所）

日本文化体験イベント Japan Tag（デュッセルドルフ）で
日本の自治体をPRする職員（ロンドン事務所）

Kodomono Hi Japan Festival で日本の自治体を
PRする職員（シドニー事務所）



カナダ自治体連合の総会で行政サービスを
学ぶ職員（ニューヨーク事務所）

天皇誕生日レセプションで日本酒の
PRをする職員（ソウル事務所）

JET プログラム OB との座談会での集合写真
（北京事務所）

一般財団法人
自治体国際化協会
CLAIR

本部・海外事務所で 質の高い研修 を実施

クレアには2年間の本部勤務と、
1年間の本部勤務後に2年間の海外事務所勤務を行う2つの派遣形態があります。
本部・海外事務所のいずれにおいても、実用的な能力の開発・向上を目指した研修を提供しています。

本部研修

主な研修	研修内容	目標・効果
語学力向上研修	語学学校においてプライベートレッスンを実施し、国際人として業務遂行に必要な語学力の向上を図ります。	英語：TOEIC730点 仏語：フランス語能力テストA2レベル 中国語：中国語能力試験4級 韓国語：ハングル能力検定試験4級
海外事務所研修	本部2年目勤務の職員に海外事務所勤務を経験する機会を提供し、実践を通じた国際業務遂行能力の向上を目指します。	国際業務遂行能力の向上
外国語プレゼンテーション研修	外国語プレゼンテーションの実践を通じ、効果的な説明の仕方や、プレゼンテーション後の質疑応答の適切な対処法を学びます。	国際業務を遂行するためのプレゼン技術の向上
国際プロトコール研修	国際業務を遂行する上で不可欠な国際儀礼（プロトコール）についての知識と理解を深めます。	国際プロトコールについての知識の習得
MICE研修	今後さらに重要視されるMICE誘致・MICE開催を通じた国際・国内相互の人や情報の流通、ネットワークの構築に適応できる専門的知識を身につけます。	経済交流を促進するためのノウハウの習得
オンライン情報発信研修	情報発信の手法として多用されるようになったオンラインセミナーの準備・当日の運営に必要となる知識や実践的な技術を身につけます。	時代に即したオンラインセミナー技術の習得
プレゼンテーション技術研修	オーディエンスを惹きつけるための魅力的なプレゼンテーション資料の作成方法やその活用法及びノンバーバルコミュニケーションスキルを身につけます。	国内・海外を問わず通用するプレゼン技術の習得

海外事務所研修

主な研修	研修内容	目標・効果
物産展や博覧会への参加	物産展等への出展を希望する自治体等への各種支援等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	自治体支援のノウハウ等の習得
国際的シンポジウムや交流会議の開催	シンポジウム開催に当たっての支援等、現地業務を通じてスキルアップを図ります。	業務推進のためのノウハウ等の習得
各国の地方自治制度、文化や慣習の習得	現地自治体を訪問し、両国地方制度に関する意見交換等を行います。	地方自治制度、各国の特色等の習得
現地大学・国際会議でのプレゼンテーション	担当地域の大学・国際会議において、自治体の政策等について、英語によるプレゼンテーションや意見交換等を行います。（ニューヨーク事務所・シンガポール事務所・シドニー事務所）	プレゼン技術の向上、海外の現状理解
自治体への訪問・インターンシップ研修	各国の地方自治・地方行財政への理解を深めるとともに、現地調査等の実践を通じてヒューマンスキル・語学力を磨きます。（訪問研修：ニューヨーク事務所・ロンドン事務所、インターンシップ研修：パリ事務所・シドニー事務所）	各国の自治体政策等に関する理解の向上、コミュニケーションスキル等の向上

クレア本部には、外国籍職員（プログラム・コーディネーター）が在籍しています。
様々な国籍の職員と共に仕事をすることで、本部勤務においても国際感覚を養うことができます。

本部勤務者の海外事務所研修

プログラム・コーディネーターとの打合せ（東京本部）

クレア勤務経験者の声

クレアでの本部勤務及び海外事務所勤務を通じて得た様々な経験は、
貴重な財産となり、派遣元の自治体に復帰してからも活かされています。

自分を成長させることができた海外勤務

広島市
国際平和推進部
国際化推進課
猪丸 雄太

ニューヨーク事務所に勤務した最初の年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な活動が大きく制限されていましたが、手探りながらも米国の自治体の取組等を調査し、SNSなどでの発信を通じて、日米の文化や考え方の違いを肌で感じることができました。2年目には、規制が徐々に緩和されたことを受けて、米国の地方自治体を訪問して地方自治制度や行政運営を学ぶ研修への参加や、コンベンションイベントにおいて日本の自治体をPRする機会にも恵まれ、多くの経験を積むことができました。
帰任後は、当市を訪れる海外からの賓客対応や姉妹・友好都市との交流事業において、各都市や大使館等の関係者との連絡調整を担っており、クレア在籍中に身に付けた語学力や経験が活かせていると感じています。

地方政府関係団体の総会に参加

クレア勤務時の所属 ●平成31年4月～令和2年3月　企画調査課 主査　●令和2年4月～4年3月　ニューヨーク事務所 所長補佐

パンデミック下でも多くを学べた海外派遣

徳島県 商工労働観光部
商工政策課
海外戦略担当
濱本 京平

私がロンドン事務所に在籍していた期間はパンデミックのさ中で、今まで行っていた活動の多くが実施不可能になりました。その一方で、英国社会が大きく変容していくところをリアルタイムで見ることができ、多くのことを学べました。日本からの出張受入や事務所からの出張がない中でも、業務内容を工夫し、研究調査・国際交流・JETプログラムに関する人事など、様々な分野の業務に携わることができました。
特に印象に残っているのは、派遣元である徳島県からの依頼で、英国における消費者行政や最新のエシカル消費のトレンドなどについて、県の広報誌へ定期的にエッセイを寄稿したことです。
帰国後、県産品の海外販路開拓に携わる上で役立つ知識が多く身につきました。

ロンドン事務所メンバーと集合写真

クレア勤務時の所属 ●平成31年4月～令和2年3月　調整課 主査　●令和2年4月～4年3月　ロンドン事務所 所長補佐

自主性と発想力を鍛える

市川市
文化国際部
国際交流課
早坂 諒

海外勤務で得た知識と経験は沢山ありますが、それを経て培われたものは「観察力」であるように思います。
異国での生活において、言語というハンディに負けないためにも周囲の変化を敏感に察知し、フランスではなにがトレンドか、そこに当てはまる日本の強みはなにかなどを意識し、日常に散らばったピースを集めて様々な可能性を見出す習慣を学んだ2年間でした。
この経験は現在の業務でも大いに役立っています。アフターコロナで事業が再開する中、約3年の空白期間を埋めるためにも、今後の国際交流に必要となるカギを、アンテナを高くして探り、自ら積極的に企画・提案していかなければなりません。クレア勤務で得た貴重な知見を活かし、この課題に対する答えを導き出していきたいと思います。

世界遺産フォンテーヌブロー宮殿で開催されたイベントで日本の自治体や観光地をPR

クレア勤務時の所属 ●平成31年4月～令和2年3月　多文化共生課 主事　●令和2年4月～4年3月　パリ事務所 所長補佐

宝物の3年間

東京都
政策企画局
外務部 企画課
吉岡 絵里奈

クレアでの日々は私にとって人生の宝物のような3年間となりました。
初めての海外出張、東南アジア最大級のアニメ博出展、歩いて行ける隣国、目にするもの・体験全てが新鮮で、毎日が大冒険でした。また、多様な国籍の友人達からは価値観・文化・宗教を学び、自身のアイデンティティを見つめ直す機会を得られました。
何より、日々勃発する予測不能な出来事に対し、不撓不屈の精神で落ち着いて対処することができるようになったことは、大きな財産です。
帰任後は、都市外交を担当する部署に所属しています。国際会議や要人の出張準備等、突発的な事態への対応が求められる場面が多々ありますが、クレアで培った強靭なメンタルで乗り切っています。

シンガポール政府観光局「マーリー」とフィリピン旅行博にて

クレア勤務時の所属 ●平成30年4月～31年3月　経済交流課 主事　●平成31年4月～令和3年3月　シンガポール事務所 所長補佐

クレア勤務でのさまざまな経験

- 多文化共生のサポート
- 国際交流への貢献
- 海外ネットワークの構築
- 観光客誘致活動
- 日本企業の海外展開支援
- 地域のブランド化
- 異文化コミュニケーション
- 外国語での折衝
- 情報収集・分析
- 自治体の外交戦略の構築

地域の国際化に役立つ人材へ

1. 国際業務のジェネラリストであると同時に、多文化共生、経済交流等の専門領域を持ち、**地域の国際化業務に臨機応変に対応できる高いスキルを習得**
2. 国際化を通して、地域の活性化に寄与し、**地域ひいては、日本の国際的プレゼンスの向上、共存共栄に貢献**

語学力ゼロからでも身についた国際感覚

長野県
農政部
農業政策課
大沢 美帆

語学が一番苦手科目。それでも海外で働けるのか…?から始まったクレア派遣。心配に反して、ソウル事務所では、料理教室・イベントでの長野県 PR や現地アテンド等、多くの業務を経験することができました。派遣を通じて、日本とは異なる社会・文化に触れ、現地の方と一緒に活動することで、広い視野で柔軟に考え対応できる「国際感覚」が身に付いたことが、語学力が完璧ではない私の「強み」になりました。帰任後は、コロナ禍での東京五輪のホストタウン受入れやウクライナ避難民支援等前例のない事業に携わったほか、県訪問団として韓国訪問・トップセールスを行い中断していた韓国との交流を再開させる等、クレアで得た知見や人脈、そして「国際感覚」を活かして国際業務に取り組むことができたと感じています。

「AGF2019」イベントブースでの自治体VRツアー体験

クレア勤務時の所属 ● 平成29年4月～30年3月　企画調査課 主事　● 平成30年4月～令和2年3月　ソウル事務所 所長補佐

高知からシドニー、そして世界へ

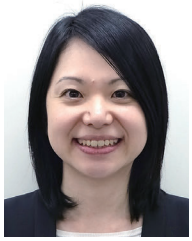
高知県
林業振興・環境部
治山林道課
谷本 貴則

クレア勤務の経験から、私は「人脈という財産」を世界中へと広げることができました。日本各地において国際化を推進するには、語学力の向上はもちろんですが、更に重要なことは「人脈を築く」ことであると海外勤務の経験から気づきました。日本を離れ海外で働くチャンスを得たことで、多くのビジネスパーソンと知り合う機会がありました。世界へと広がった交友の輪は、私の財産となり、多文化共生なども含めて多くの国際感覚を身につけることができました。帰国後は、高知県グローバルキャリアフェアの開催や、観光協会と連携し、オーストラリアから高知へのゴルフツアー造成などに取り組んできたところです。これからも高知の魅力を世界へ発信していきたいと思います。

NZL森林研究所のリチャード博士と森林調査

クレア勤務時の所属 ● 平成29年4月～30年3月　調整課 主査　● 平成30年4月～令和2年3月　シドニー事務所 所長補佐

自分の成長につながるクレアでの勤務経験



宮崎市
観光商工部
観光戦略課
根立 亜由美

クレアでの３年間は、様々な業務を通して、多くの学びがありました。特に、北京事務所では中国のスピード感に日本との違いを感じ、初めはとまどうことが多々ありましたが、それぞれの視点で考え、クレア職員としてどのように調整業務等を行っていけるかという目標に変え、自分の成長につながるよう努めました。現在は、インバウンド誘客促進のための業務に携わっており、クレアで学んだ、訪日外国人からの視点で物事を捉える力が役に立っているように感じます。同時に、市から県、県から全国、国内から国外へと段階的に物事を考える力も培うことができたように思います。2020 年からの２年間は新型コロナの影響を大きく受けた時期ではありましたが、慣れない海外生活でそのような経験ができたことも、今となっては自分自身の糧となっています。

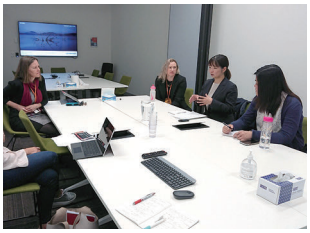
日系百貨店での日本自治体産品展の様子

クレア勤務時の所属 ● 平成31年4月～令和2年3月　交流親善課 主査　● 令和2年4月～4年3月　北京事務所 所長補佐

派遣を終えて感じること

藤枝市
企画創生部
広域連携課
大石 沙織

東京本部は、様々な国籍のプログラム・コーディネーターと全国の自治体から派遣された職員で構成されているため、業務を通じて様々な視点の考え方に触れることができ、毎日発見や学びの連続でした。また、国際会議における日本の自治体と現地担当者間の調整を担当した際には、国によって考え方等様々な面で異なることを実感し、日本を客観的に見る大変貴重な機会となりました。現在国際交流を担当していますが、実務的な面だけでなく、クレア勤務を通じて感じた「国際的な感覚」は、事業を企画・調整・実施していく上で活かされていると感じます。



海外事務所研修（シドニー）における調査

クレア勤務時の所属 ● 令和3年4月～4年3月　研修・カウンセリング課 主査　● 令和4年4月～5年3月　交流親善課 主査

自治体の 海外活動最前線 で働く

クレアの海外事務所は、自治体が海外で活動する際の後方支援を担う重要な存在です。
海外事務所勤務を通じ、グローバルな視点での政策立案能力等を習得できることから、
将来の幹部職員を育成するには最適な環境といえます。

各自治体からの要請に基づく海外業務の支援

主な業務内容	目標・効果
● 自治体が海外で業務を行う際の事前調整や現地での同行等のサポート ● 自治体等から照会を受けた海外調査の実施及び回答 ● 派遣元自治体の特定ミッションに関して、現地駐在員としての役割を担当	● 多様なニーズに応える専門的知識の習得 ● さまざまな業種・地位にある相手との折衝能力の向上

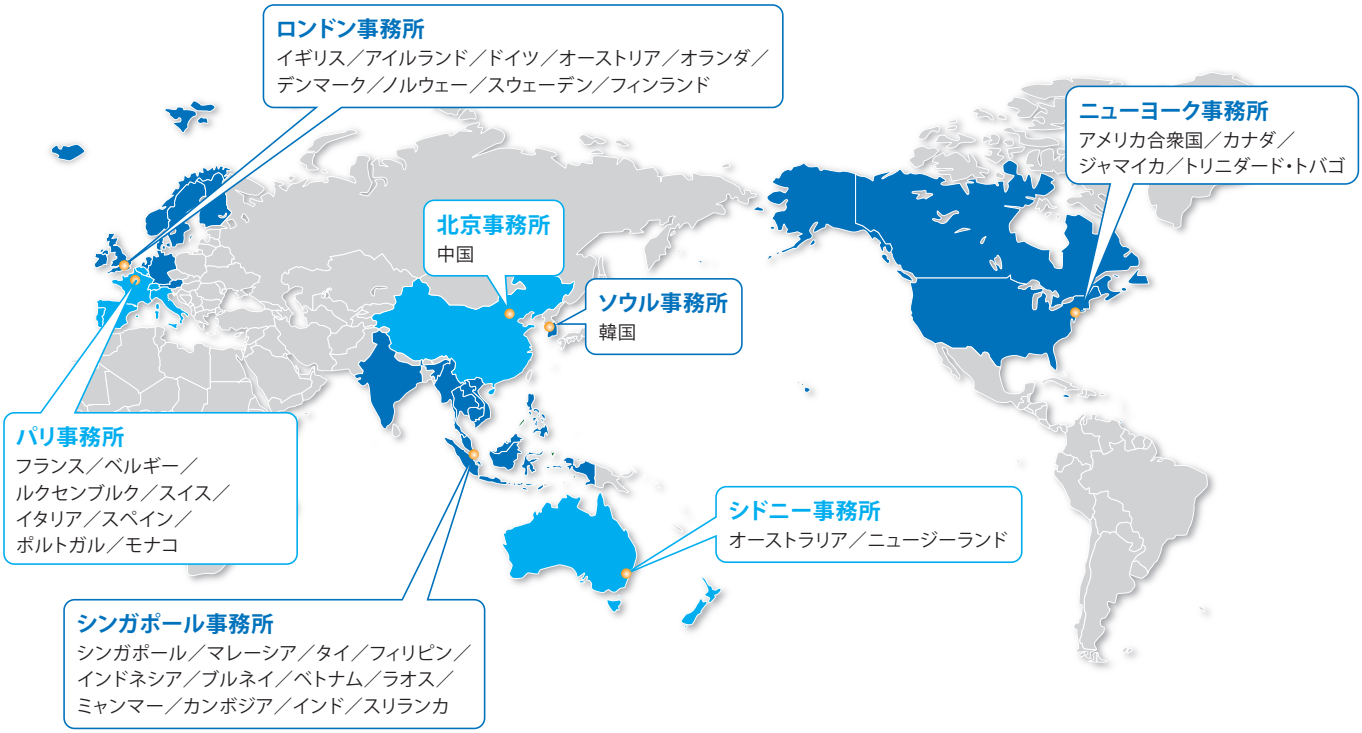
特定テーマにかかる調査研究活動

主な業務内容	目標・効果
● 諸外国における地方行財政制度、海外自治体の施策等に関する情報収集及び調査研究 ● 調査・研究の成果を、「各国の地方自治シリーズ」及び「クレアレポート」として協会ホームページで公表	● 諸外国の制度との比較検討を通じて、日本の地方自治制度に関する理解・考察の深化 ● 企画・情報収集・論文作成を通じ、多角的な視点に立った政策立案能力の向上

各海外事務所の事業実施

主な業務内容	目標・効果
● 各海外事務所がそれぞれの地域で企画する事業の実施（現地展示会への出展 等） ニューヨーク事務所：アニメNYC ロンドン事務所：ハイパー・ジャパン　パリ事務所：サロン・デ・メール シンガポール事務所：アニメフェア　ソウル事務所：日韓交流おまつり シドニー事務所：日本祭り　北京事務所：ジャパンブランド展　等 ● 東京本部が（又は国と共同で）企画・実施する事業の現地サイド業務	● 事業実施に係る企画・調整・運営能力の向上 ● 現地自治体との相互理解の促進 ● 幅広い人的ネットワークの形成

海外事務所 担当地域



募　集　要　項

◎ 職員の派遣形態

自治体からクレアに派遣される職員の派遣形態には、本部勤務と海外事務所勤務の2つのパターンがあります。

	期間及び勤務場所	派遣形態	身分	給与	海外赴任中の滞在経費	赴任旅費	出張旅費・研修費用
本部勤務者	2年間 東京本部	派遣法による派遣	派遣元の身分及びクレアの主査 等	クレア負担	――	クレア負担（クレア着任時）	クレア負担
海外事務所勤務者	1年間 東京本部 2年間 海外事務所	研修派遣	派遣元の身分及び海外事務所の所長補佐 等	派遣元負担	派遣元負担（クレアが派遣元に助成）	派遣元負担	クレア負担

◎ 勤務条件

本部勤務者

勤務時間　9:00 ～17:45（休憩時間は12:00 ～13:00）
※時差出勤・在宅勤務制度あり

休　　日　土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

休　　暇　年次有給休暇（20日、繰越可）、夏季休暇、慶弔休暇 等

海外事務所勤務者

勤務時間　所在する地域により異なる

休　　日　土・日曜日、勤務する国の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

休　　暇　年次有給休暇（20日、繰越可）、夏季休暇、慶弔休暇 等

◎ 福利厚生

健康保険、互助会等の福利厚生は派遣元からそのまま継続されます。財形貯蓄、貸付金等は所定の手続きが必要になる場合がありますので、派遣元及びクレアの担当者にお尋ねください。

◎ クレア派遣前の職務経験 等

福祉、税、農林水産、土木・建設、観光、商工 等、さまざまな職歴を持つ職員が派遣されています。

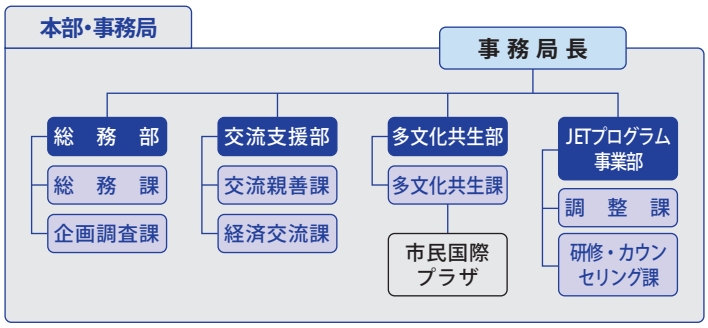
◎ 滞在経費助成金

海外事務所派遣期間中にかかる滞在経費について、派遣職員が海外に居住することに伴って増加する経費を対象に、クレアから派遣元団体に対し、海外事務所に応じた額を助成します。（下記限度額を上限として、対象経費の実績に応じて助成）

海外事務所	ニューヨーク	ロンドン	パリ	シンガポール	ソウル	シドニー	北京
助成限度額	495万円	504万円	387万円	423万円	324万円	324万円	342万円

CLAIR（クレア）とは

一般財団法人 自治体国際化協会（Council of Local Authorities for International Relations）の略称です。東京に事務局・本部を構え、ニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー、北京に海外事務所を設置しています。自治体の海外活動の支援や、諸外国の地域活性化に関する情報収集、さらには日本の地方自治制度を世界へ発信するなど、自治体と世界各国の架け橋として活動しています。



海外事務所
ニューヨーク ロンドン パリ シンガポール ソウル シドニー 北京

支部
47都道府県 20政令指定都市

◎ お問い合わせ

総務部 総務課

TEL 03-5213-1722　FAX 03-5213-1741　E-mail somu@clair.or.jp

一般財団法人
自治体国際化協会（CLAIR）
〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6・7F
https://www.clair.or.jp

クレアへ職員を派遣した自治体の声はこちら
https://www.clair.or.jp/j/forum/forum/articles/index-390.html